

# 実践研究報告書

## 愛川町立中津第二小学校

校長 森山 勝美

### テーマ 『歯周病は全身病』

#### 1 健康教育に係る学校の現状と課題

本校での歯科指導は、6月に歯みがき週間、11月にカラーテストを実施している。朝ごはん後の歯みがきはしているが、給食後の歯みがきができていない児童もいる。全員が歯ブラシを持ってきていないところが、本校の課題の一つである。

#### 2 実践のねらい

実践のねらいは、歯肉炎を放っておくと歯周病になること、歯周病は全身病であることを理解することで、生涯を通じて、ブラッシングをすることの大切さがわかり、実践できることである。

#### 3 実践の内容と成果・課題

##### (1) 実践組織（校内体制）

養護教諭、児童保健委員会

##### (2) 実践内容

学級ごとの歯科指導で、6年生を対象に実施した。漫画の一コマずつを写真に撮り、パワーポイントでスライドを作った。台詞は保健委員会の児童が吹き込んだ。パソコンをテレビにつなぎ、漫画に台詞を吹き込んだ資料を流し、歯肉炎や歯周病について学習した。

##### (3) 成果

興味をもって、よく見ていた。ストーリーもわかりやすく、テンポも良かった。映像にすると、熟読できないため、理解に至らない児童もいる。最後に補足をすることで、理解できたようだ。

##### (4) 課題

今回の保健指導では、漫画の内容だけでは不十分だった。内容を理解するためには、最後にまとめることがとても重要である。



#### 4 実践のまとめ

歯科指導の導入に使用した。スライド作りも、一コマずつ写真を撮るだけなので、簡単だった。今回は台詞を吹き込んだが、資料作りをする時間がないときは、台詞を入れず、紙芝居形式で進めてもよいと思った。

# 実践研究報告書

## 愛川町立中津第二小学校

校長 森山 勝美

### テーマ 『もっと知ろう 熱中症』

#### 1 健康教育に係る学校の現状と課題

本校の児童は、純朴で素直な子どもが多い。熱中症対策では、冷却スカーフなどのアイテムは意識して身につけているが、しっかり寝る、朝ごはんを食べる、暑さになれるなどの、熱中症を防ぐための基本的な体づくりができていないことが課題である。

#### 2 実践のねらい

実践のねらいは、熱中症になる仕組みや予防方法を知ること、生活リズムを整え、熱中症を予防できるようにすることである。日常生活と結びつけ、日頃から水分補給と生活の仕方を考えることを意識させたい。

#### 3 実践の内容と成果・課題

##### (1) 実践組織（校内体制）

養護教諭、児童保健委員会

##### (2) 実践内容

「OTSUKA漫画ヘルシー文庫」から熱中症に関する内容の一部を抜粋・拡大して、保健室前に掲示する。特に見て欲しいコマには児童保健委員が色を塗った。詳しく知りたい児童のために、掲示物の下に、元の漫画を読めるように吊した。

##### (3) 成果

保健室前に立ち止まって読んでいる児童もいた。熱中症の症状や、熱中症になるメカニズムなどがわかりやすく説明されているので、高学年の児童はよく読んでいた。

##### (4) 課題

低学年には難しい内容なので、漫画を読むだけでは理解できていないようだった。

また、抜粋しても、掲示物としてはストーリーが長いので、廊下を通り過ぎるときに読める物にはできなかった。

#### 4 実践のまとめ

低学年でもわかるような資料を添えると、全学年がわかる内容にできたのかもしれない。漫画は中学年向けに作られているので、低学年にも知ってもらうためには、もう少し工夫が必要である。

